



デジタルサービス局事業(R4年度～R7年度) 実施報告

2026/7/6

三菱地所株式会社



1. 事業概要

2. R4・R5年度 実施報告

3. R6・R7年度 実施報告

3-1. ポート・インフラ

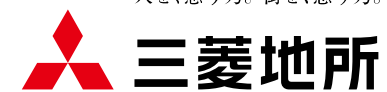
3-2. Vertiport Automation System

3-3. デモフライト結果

3-4. ConOps実証結果概要

3-5. イベント結果概要

人を、想う力。街を、想う力。



1. 事業概要

1. 事業サマリー

目的

都内における**空飛ぶクルマ**を活用したサービスの早期事業化

持続可能な
モビリティサービス

R4年度

各種調査による
ポート適地選定
ビジネスモデル
検討



R5年度

ヘリ活用による
移動体験の
イノベーション 実証



R6~R7年度

eVTOL・ポート活用による
空飛ぶクルマの
CONOPS 実証

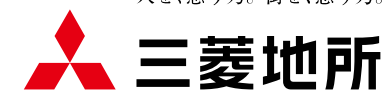


利用シーン実証

テクノロジー
(運用)実証

空飛ぶクルマのCONOPS: 空飛ぶクルマの業界関係者に必要な情報提供、認識共有を図る目的で空の移動革命に向けた官民協議会から2023.3に発行された「空飛ぶクルマの運用概念(Concept of Operations)」

人を、想う力。街を、想う力。



2. R4・R5年度 実施報告

2. 事業サマリー(実施年度の位置づけ)

目的

都内における**空飛ぶクルマ**を活用したサービスの**早期事業化**

持続可能な
モビリティサービス

R4年度

R5年度

R6~R7年度

利用シーン実証

各種調査による
ポート適地選定
ビジネスモデル
検討



ヘリ活用による
移動体験の
イノベーション実証



eVTOL・ポート活用による
空飛ぶクルマの
CONOPS実証

空飛ぶクルマのCONOPS: 空飛ぶクルマの業界関係者に必要な情報提供、認識共有を図る目的で空の移動革命に向けた官民協議会から2023.3に発行された「空飛ぶクルマの運用概念(Concept of Operations)」

2. ヘリ実証／実施概要

新丸ビル屋上(緊急離着陸場)とお台場臨海部をヘリでつなぐ移動・遊覧サービスの実証実験を実施

都心の
“空の移動”を
一足早く体験!

SoraTabi

空飛ぶクルマ社会実証
ヘリコプターによる空の移動体験

2022年度より三菱地所、日本航空、兼松の3社からなるコンソーシアムは東京都「空飛ぶクルマを活用したサービスの社会実装を目指すプロジェクト」に採択され、将来の都内における実証を目指す実証事業を推進しております。今年度はヘリを活用した運航実証を実施致しますので、渋滞を避け快適に移動し、空から見る東京のいつもと異なる表情をお楽しみ頂ける“空の移動”をぜひこの機会に体験ください。

2024年 運行日程
[各日 10:00 - 16:00]



5つの航路がご覧いただけます

- 1 ゆりかもめ青海駅南側特設会場 ▶ 新丸ビル屋上
- 2 新丸ビル屋上 ▶ ゆりかもめ青海駅南側特設会場
- 3 東京ヘリポート ▶ 新丸ビル屋上(片道移動)
- 4 新丸ビル屋上 ▶ 東京ヘリポート(片道移動)
- 5 ゆりかもめ青海駅南側会場離発着(2地点間移動ではなく遊覧になります)

全て一律 **17,600** 円/人(税込)



- ・有償、募集枠74名に対して200名を超える応募
- ・制限表面確保のためビル屋上を一部改修
- ・風況と騒音の環境影響調査を実施



新丸ビル受付スペース



青海駅南側特別会場(J地区)



2. アンケート結果(価格受容性)

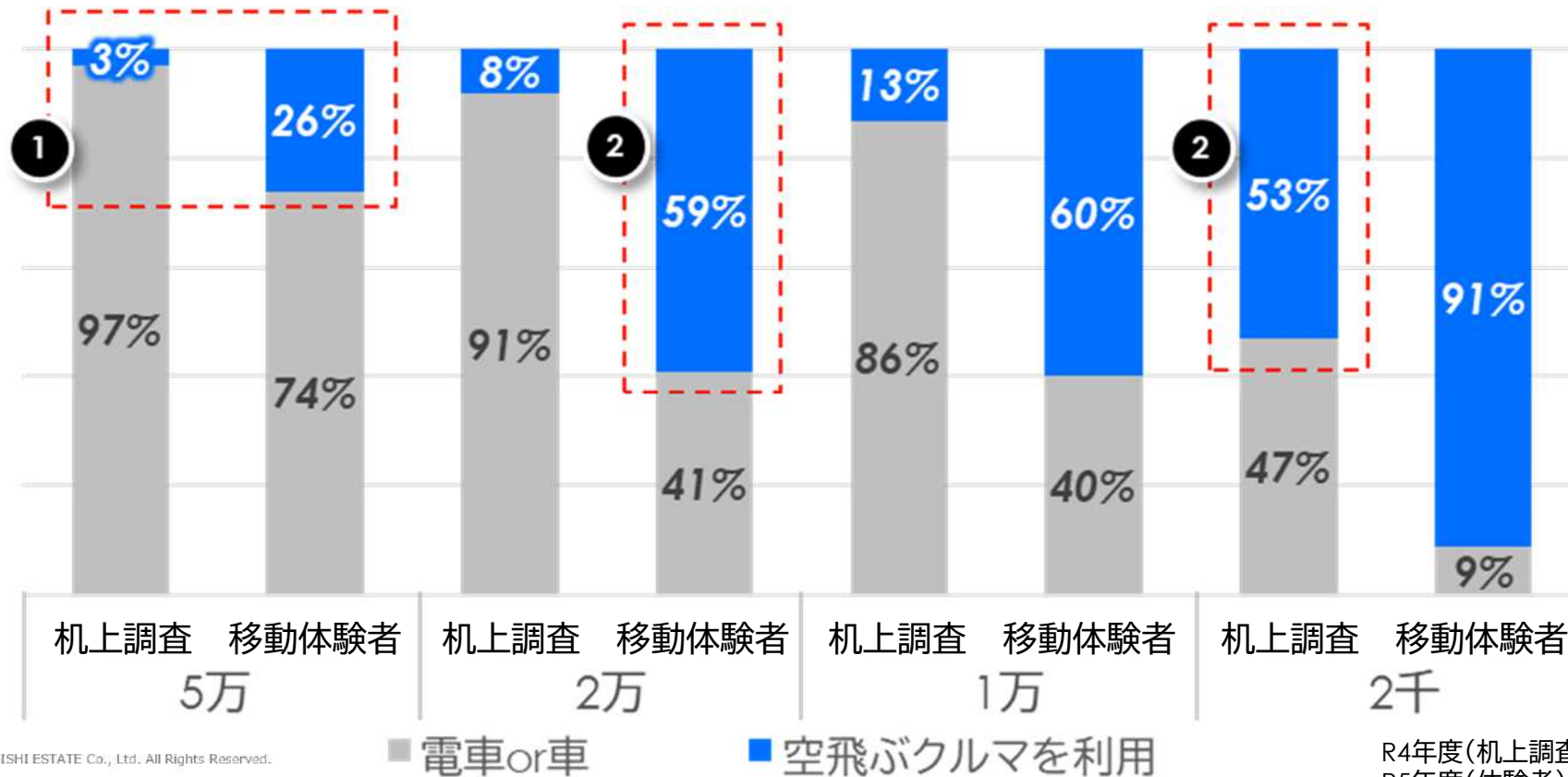
① 運賃が5万円の場合

:空飛ぶクルマ選択率 FY22 **3%** → FY23 **26%** に増加

② 空飛ぶクルマの選択率が過半数

:FY22(非体験者) **2千**円 → FY23(体験者) **2万**円

移動時間 60分→20分の場合

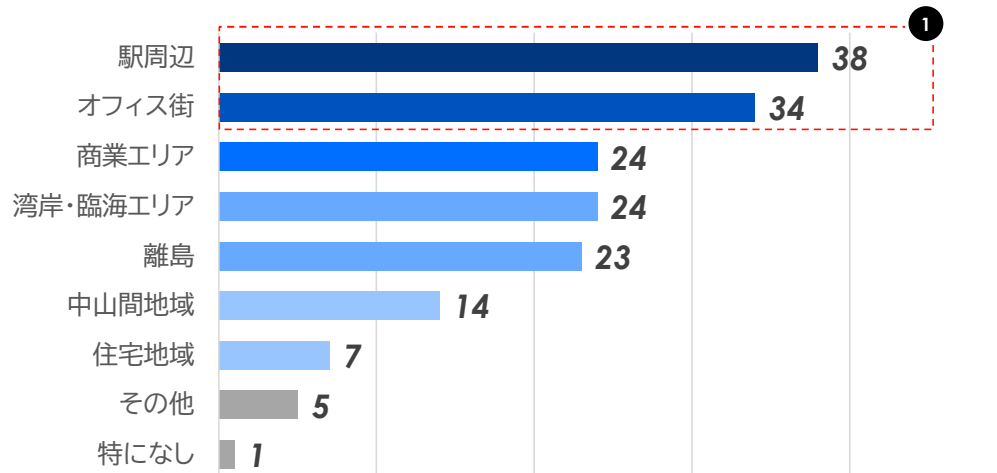


2. アンケート結果(ポート設置場所)

- ① 駅やオフィス街といった**中心市街地**への離着陸場設置
- ② 移動の**最終目的地へ直接乗り入れることができる場所**へのポート設置が重要

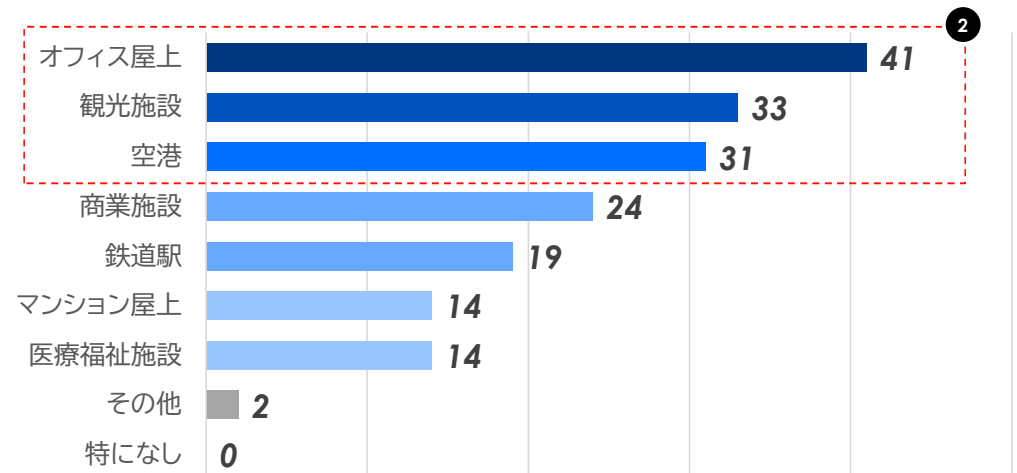
空飛ぶクルマが導入された場合の適していると思われる離着陸場の設置エリア

(複数回答可)



空飛ぶクルマが導入された場合の適していると思われる離着陸場の設置場所

(複数回答可)



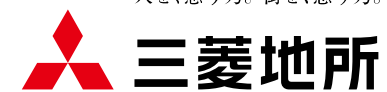
2. 測定結果(移動の短縮効果)

- ①最終目的地により近接した利便性の高い場所にポート設置
- ②移動前後のオペレーション時間の短縮(飛行機よりもバスや電車に近いスムーズな手続きの実現が肝)

ルート:【出発地】新丸の内ビルディング ⇒ 【到着地】お台場/J地区 ⇒ 【最終目的地】東京ビッグサイト

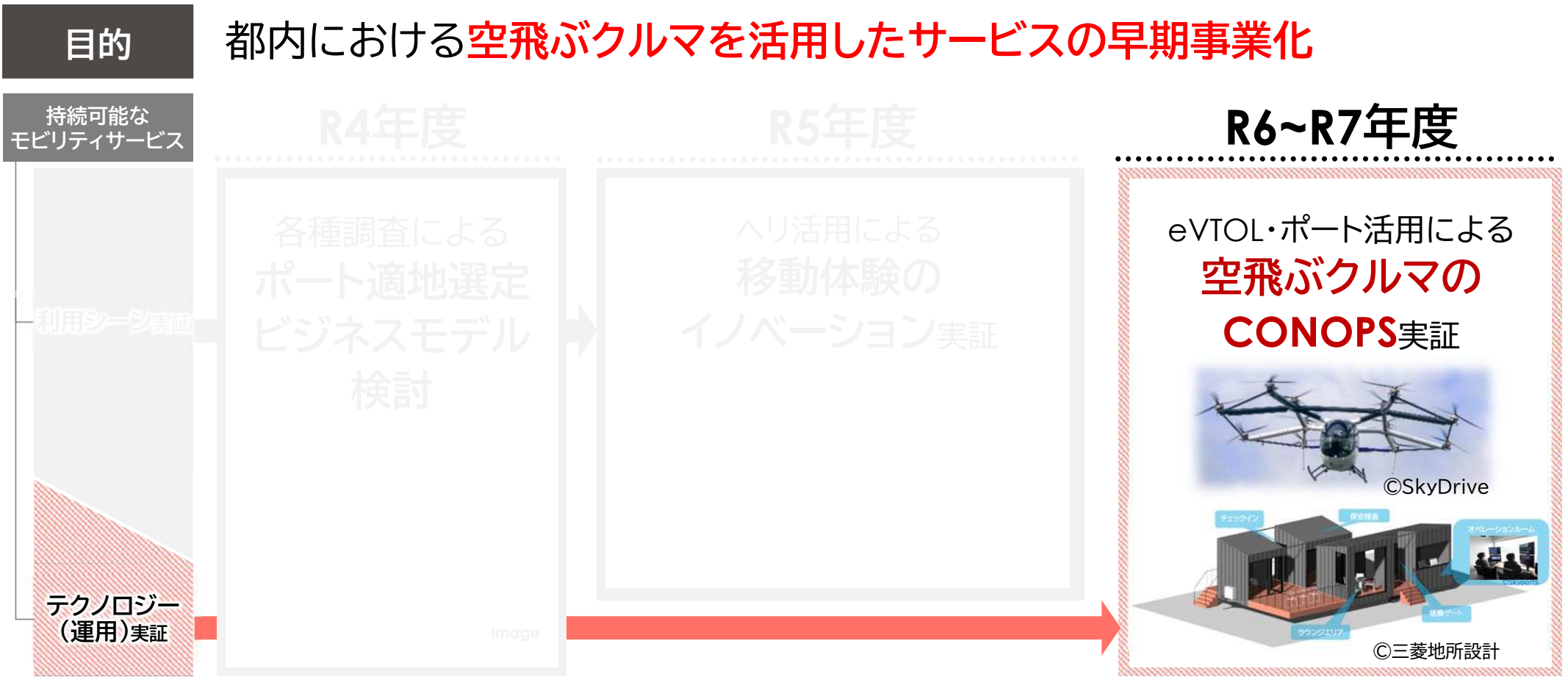


人を、想う力。街を、想う力。



3. R6・R7年度 実施報告

3. 事業サマリー(実施年度の位置づけ)



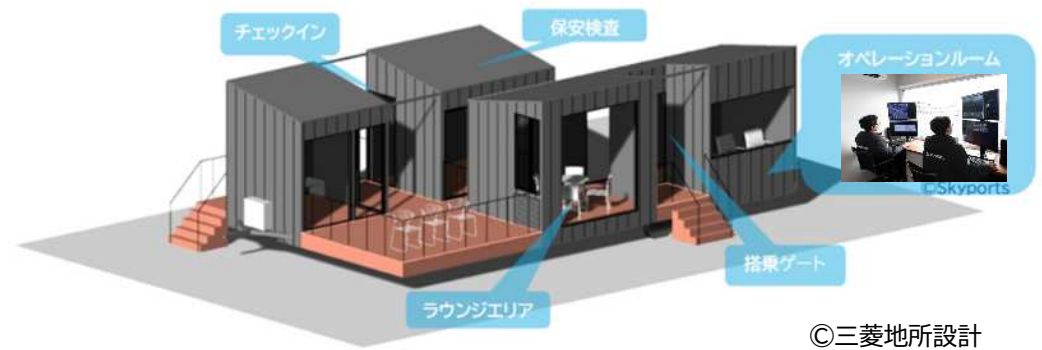
空飛ぶクルマのCONOPS: 空飛ぶクルマの業界関係者に必要な情報提供、認識共有を図る目的で空の移動革命に向けた官民協議会から2023.3に発行された「空飛ぶクルマの運用概念(Concept of Operations)」

3-1. ポート・インフラ

離着陸場、旅客ターミナル、オペレーションルーム(空域監視等)、格納庫を整備した暫定Vポート



■25m x 25m格納庫(雨天時の搬出入及び分解組立を可能にした底により日程遵守)



■約 54 m²可動産ターミナル(トレーラーハウス 17.06 m²×2 基+デッキスペース約 20 m²)
※インクルーシブ対応として、昇降機を付加し、車いすやベビーカーのお客様にも対応

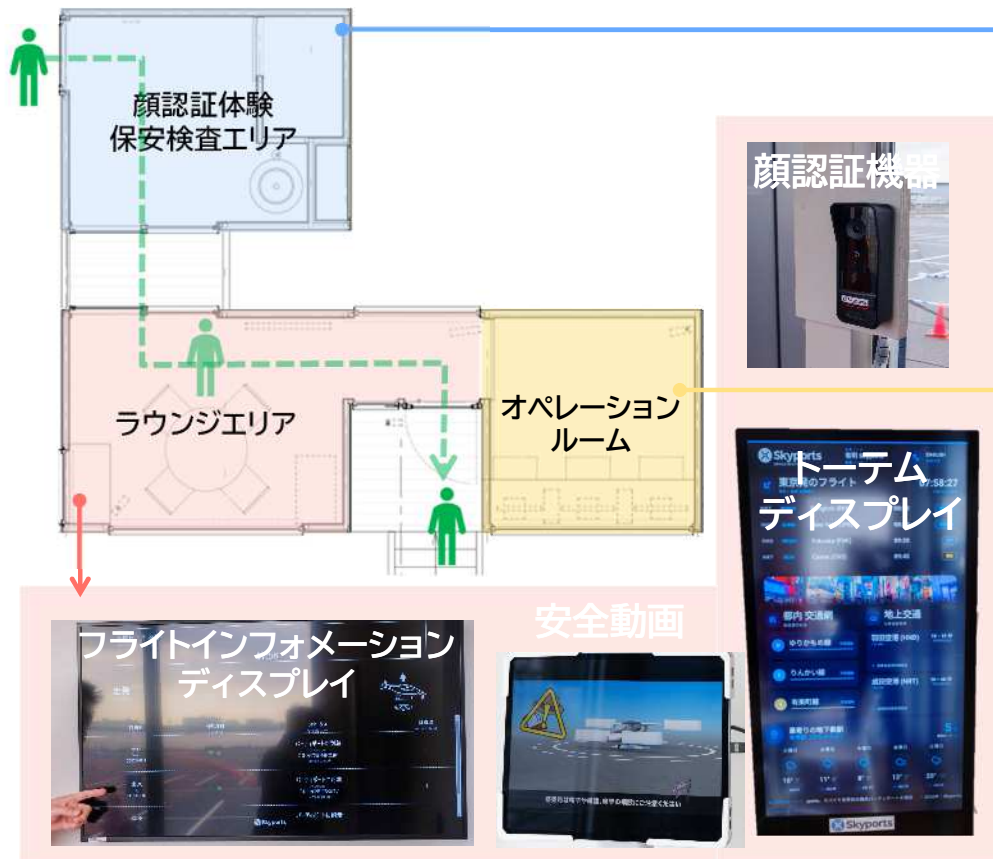


3-2. Vertiport Automation System

人を、想う力。街を、想う力。  三菱地所

兼松・SkyportsによるVertiport Automation Systemの各機器の配置・機能・旅客動線

システム・機器配置図



3-3. デモフライト結果

SD-05を使用してデモフライト。全10回中4回フライト実施(5回は気象要因、1回は整備要因でキャンセル)
※飛行キャンセル時はハンガー内で機体の撮影会やトークイベントを開催



＜デモフライト概要＞ 2026年2月24日（火）第一フライトの情報

使用機体	SkyDrive 式 SD-05 型
＜仕様＞	・パイロット 1 人、乗客 2 人の 3 人乗り ・約 11.5 m × 約 11.3 m × 約 3 m（ローター含む） ・最大離陸重量は 1,400kg ・駆動方式：12 基のモーター、ローター ・燃料：バッテリー（電動） ・素材：複合材やアルミ合金など ・最高速度：100 km/h（対気速度） ・航続距離：15 ～40 km
飛行距離	150m
飛行時間	約 3 分 30 秒
飛行速度	4m/s
飛行高度	13m

■公開デモ飛行

	9:30				12:05			
	Result	Distance	Time	Altitude	Result	Distance	Time	Altitude
2/24	Achieved	150m	3:38	13m	Achieved	80m	2:46	12m
2/25	Canceled	Due to rain			Canceled	Due to rain.		
2/26	Canceled	Due to strong wind			Canceled	Due to strong wind		
2/27	Canceled	Due to maintenance			Achieved	100m	4:02	12m
2/28	Achieved	120m	4:01	13m	Canceled	Due to strong wind		

■雨天・強風時はハンガー内でトークイベントを実施



3-4. ConOps実証結果(移動の短縮効果・運営の省力化)

ヘリ実証時課題の搭乗前時間を削減(30分前→10分前)、運用人員も半減(4名→2名)

定量評価

各工程の一人当たり所要時間(計測実績)

工程	平均	中央値	最大
顔認証チェックイン	12秒	10秒	43秒
保安検査	11秒	9秒	19秒
ラウンジ滞在	1分32秒	—	(固定)
搭乗ゲート	12秒	11秒	23秒

全工程合計(チェックイン～搭乗ゲート)

平均 2分06秒 / 人

最短 1分48秒 | 最長 2分57秒

※ ラウンジ滞在(1分32秒)は安全動画の視聴+αの全体案内のため滞在時間の平均値を加算

定性評価(アンケート抜粋)

肯定的コメント

"顔認証が早い。待合室にトイレがあって安心"

"手続きが簡単で早い／書類を一切出さなくてよかった"

"端末や人との接触がなく、乗り場がコンパクトで良い"

"最先端の技術でスムーズに認証できる"

改善コメント

▲ 携帯使用禁止は映像だけでなく口頭でのアナウンスが必要

▲ 保安検査所の広さと天井の高さ改善

▲ 旅行時の荷物の預け入れ方法が不明

考察

- 時間短縮効果:過年度のヘリ実証比で、(30分前集合からの待機時間除き)搭乗前手続きを約6分短縮
 - 顔認証でのチェックイン・改札を行うことにより、受付等に要する時間を大幅に短縮
 - 安全説明について、動画視聴に切り替えることで説明時間を短縮化
 - 各工程がターミナル内で一連の流れで完了することによる移動距離・時間の短縮化

- 対応人員効果:対応人員はヘリ実証比で2名削減の可能性を確認
 - ヘリ実証時は各工程の機能が分散、各所へ人員配置が必要(旅客・保安対応3名、誘導員1名)
 - 本実証はターミナルへの機能集約、各工程のシステム活用により、旅客対応・保安検査各1名にて対応
- 既存エアモビリティとの比較
 - 計測結果から、旅客は出発時刻の10分前にポートに到着していれば十分に搭乗可能であり、既存エアモビリティと比較してお客様の拘束時間を短縮可能*
 - * 運航事業者の運航ポリシーと整合させる必要あり

例:空港の保安検査場×切:出発時刻20分前
ヘリ実証時の旅客受付×切:出発時刻30分前

3-4. ConOps実証結果(ターミナル運用満足度)

要素毎の満足度は概ね良好も、スタッフ誘導を求める声は多い(サインやインターフェースは要改善)

全設問スコア一覧(n=63 5段階評価 → 肯定:4+5 / 中立:3 / 否定:1+2)

設問	肯定(4+5)	中立(3)	否定(1+2)
体験全体の満足度	81%	11%	8%
手続きのスムーズさ	81%	17%	2%
安全・安心感	81%	11%	8%
待ち時間(適切以上)	89%		11%
ターミナル居心地	43%	43%	14%
ストレスなし	71%	21%	8%
利用イメージ向上	75%	16%	10%
ターミナルの魅力感	79%	14%	6%
スタッフ誘導不要	27%	11%	62%

3-5. イベント結果概要(関係幹部視察)

人を、想う力。街を、想う力。  三菱地所

期間中約1,400名の来場、国内外83媒体の取材受入など大きく注目される場となった
東京都、コンソ関係幹部も暫定ポート、およびデモフライトを視察

■コンソ幹部



(左から)
SkyDrive 福澤 代表取締役CEO
三菱地所 中島 代表執行役社長
兼松 城所 常務執行役員
Skyports Duncan CEO

■都関係幹部



(左から)
三菱地所株式会社 執行役員
丸の内業務企画部長 塩入 啓之
東京都 デジタルサービス局長 高野 克己
東京都 副知事 松本 明子
東京都議会 議長 増子 博樹

江東区長 大久保 朋果
東京都議会 副議長 菅野 弘一
東京都 副知事 宮坂 学
株式会社 SkyDrive 代表取締役CEO 福澤 知浩
兼松株式会社 常務執行役員 城所 僚一
Skyports Limited. CEO Duncan Walker 18